



コロナ・長梅雨ダブルパンチ

新型コロナウイルス感染症拡大を危惧した様々な対策が講じられている。特に感染リスクが高い可能性のある「三つの密」①密閉空間（換気の悪い密閉空間である）、②密集場所（多くの人が密集している）、③密接場面（互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や発声が行われる）という三つの密を避けるように強く促されている。にも拘わらず、千枚田は賑やかだ。六月の土日にはかつてない賑わいで、軽トラの百姓が「すみません」と、通させて貰う始末だ。

仮設トイレの足踏みボツトンのタンクの水補給が休日一日で四杯以上も消費され、水補給をしなければ汚したまま立ち去るのが観光客の常だと、愚痴を言いながらもついつい面倒をみてしまう。どうも、原因は「三つの密」で娯楽施設の多くが規制、イベント中止等々、飽食の時代に麻痺、遊び癖の付いた密集地域に住む都会人は今の規制に行き場を失い息きが詰まる思いから、

その息抜きの場、ストレス解消に格好な千枚田へ訪れてくるものと思われる。でも、一人ひとりが、また、その家族が密集を避けているように勝手に思っているだけで、大勢が集まれば密になるし、感染者がいなことは言い切れない。こんな時、兎にも角にも、自粛、自制を望みたい。

豪雨被害

五月、六月は高気温で熱中症の噂もちらほら、例年になく稲も順調に



育っているが、七月一日未明の豪雨（ステージ3）で千枚田入り口の農道の3か所に崩落があった。また、その後の豪雨で亀裂、崩落が数か所あった。特に入り口の崩落は軽トラが危険を顧みなければやっと通ることとはできるが、おっかない。また、付近に設置してある仮設トイレの汲み取りにバキュームカーの進入が困難で、大勢訪れる人々に仮設トイレの使用禁止は考えたくない。この実情を踏まえた林義明四谷区長さまは素早く被害状況を行政に提出、一日も早い災害復旧を要望された。早期復旧は誰しも願うし、やっぱり、国民の宝である「四谷の千枚田」にはブルーシートは似合わない。

コロナ、豪雨被害に、外野からは立入禁止にしたら…とか、いろいろアドバイスを頂くが、規制しても跨いだり、除けたりしてまでも入ってしまう、そうそう、こんな事もあった。あまりにも大勢来るし、観光客から「入場料を取ったら…」とか「協力金箱を置いたら…」などと言われ、本気にして地域活動交付金で設置した「見どころいっぱい」鳳来北西部名所看板のパンフレット置きポケットに表からも見えるようにビニール袋を仮置、二週間ほどで結構

な小銭が入れられていた。が、その袋が見えないことから会計（誠ちや）が回収したものと思ひ込み、後日：沢山入っておったかん…と聞くと、：あれ、舜ちやが…とお互いに回収したものと思ひ込んでいた。仮設トイレでも何回も何回もドロボーさんに尽くしてきた。

訪れる善良な人たちは「癒しの空間」を提供している耕作者、地域住民に「ありがとう」と、皆さんの折角の感謝の気持ち、ご厚意を踏み砕く輩が、訪れる皆さんの中にいることをお知らせしたいし、悲しいが、これが現実でもある。



## 今年もリアルな案山子が千枚田にやってきた

七月二十三日、「チームTAKO」（設楽町津具）のメンバー六名が丹精込めて作製したリアルな案山子が千枚田にやってきた。

今年で四回目になる案山子は湧き水、稲架かけの天下一品、千枚田米（ミネアサヒ）のドでかいおにぎりを頬張る姿「いっぷく」をテーマに、デザートに津具の名産、トマトと天狗ナスまでお出しました。  
チームTAKOは「欽ちゃん&香取



慎吾の全日本仮想大賞」十六年連続出場、グランプリや視聴者投票受賞など、山里の人気グループでもある。

### 野外学習

七月二十一日、市立鳳来寺小学校五年生児童十名は稲の生育調査と四谷の千枚田についての学習を行った。



児童たちは学校田で田植えを行った苗の一部を学校に持ち帰りバケツ栽培も行っている。質問では自然の田んぼの稲とバケツ栽培の違い、注意点などを問われた。また、千枚田の稲作で大変な事は…と、問

われ、高低差二百以上の急傾斜で、石墨の小さな田んぼで耕運機などの出入りが大変なこと。また、サワガニが田んぼに穴をあけたりして毎日、水見をしなければならぬ。おじさんたちはサワガニを見たら踏みつぶしている。との答えに児童たちはへええ〜と目を輝かして驚いていた。他にも質問攻めで、答える側にしてはタジタジであったし、児童たちは、こんなことまで考えているんだと勉強にもなった。

### お知らせ 念仏踊り

四谷地区身平橋組では室町時代が発祥とされている市指定無形民俗文化財念仏踊りが継承されている。八月十四日、夕方には初盆宅で松灯しが行われ、夜は海源寺で先祖供養と初盆供養が同時に行われる。

### 四谷の千枚田絵画コンクール

既報に応募対象は小中学生。入賞者には本年度新米・図書券・五平餅セット他多数。チラシ、専用ハガキは郵便局、道の駅「もつくる」などにあります。

### 問合せ

☎0532 29 0808(丸八製菓内)

主催 千枚田保存会・東三河郵便局

共催 新城市 新城市教育委員会

### 夏の特別展

既報に市立鳳来寺山自然科学博物館に於いて。鞍掛山麓千枚田展を八月三十一日まで開催(午前八時半〜午後五時)。千枚田の自然や歴史、営みについて展示紹介。是非ご観覧ください。

### ホウライジユリ(鳳来寺百合)

今年は久しぶりに地域の花「ホウライジユリ」があちこちで咲いた。何故、今年が多いかを検証すると、昨年まではイノシシによる植食被害が多かったものが、昨秋頃から急にイノシシの出没が少なくなり、「今年は美味しいタケノコが食べれたゾン…とか、ジャガイモも食べれたテン…」などと聞こえてきた。また、足助や北設地域でも農産物被害が少ないと、猟師も「ちよつとも獲れん…」などと聞く。暗視カメラにも映らないことから個体数が極端に減少しているようだ。

ホウライジユリはヤマユリの別称で自生地によつて箱根百合、吉野百合などと呼ばれ近畿東海地方に自生地が多い。

行 令和二年八月一日

鞍掛山麓千枚田保存会  
文責 小山舜二

発